



衛生だより

佐賀県の養豚場で豚熱 続発！！

【概要】（国内89例目）

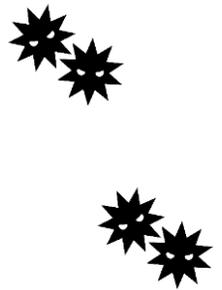
発生農場：佐賀県唐津市 飼養状況：約10,000頭

8月30日、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、病性鑑定を実施。

8月31日、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、豚熱の患畜であることが判明。

豚熱対策上重要な飼養衛生管理ポイント

- 1 衛生管理区域に立ち入る際
 車両の消毒 人の手指の消毒
 専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 2 畜舎に立ち入る際
 人の手指の消毒 専用の衣服、靴の設置と使用
- 3 畜舎外での病原体の汚染防止
 柵・ネットの設置 環境からの交差汚染防止
- 4 衛生管理区域内の整理頓及び消毒
 畜舎、柵回りの草刈り 豚や人の移動通路の消毒



食品衛生法施行規則の一部（フィチン酸カルシウム）及び、食品、添加物等（イソシンコメロン酸二プロピル、イソプロチオラン、ジミナゼン、ピリダクロメチル、ピリメタミン、マホプラジン、メトブロムロン、フィチン酸）の規格基準の一部が変更・追加されました。詳細はこちら⇒ <https://www.mhlw.go.jp/content/001125368.pdf>

成田国際空港で日本脳炎ウイルス遺伝子を検出

- ・日本脳炎は免疫を持たない妊娠豚が感染した場合、白子、黒子、ミイラ等の死産を起こしたり、生後間もない子豚がふるえ等神経症状を示して死亡します。
- ・本ウイルスはコガタアカイエカにより媒介され、蚊の活動が活発になる夏～秋にかけて発生が増加します。
- ・本病は人獣共通感染症であり、人も蚊に刺されないように注意が必要。
- ・対策：①母豚のワクチン接種、②蚊の発生源を減らす